

宮崎県都城市の養豚農場において 豚熱の患畜を確認！（国内103例目）

【農場の概要】

所在地：宮崎県都城市

飼養状況：約5,500頭

【経緯】

4月8日、農場において異状が見られるとの通報を受け、立入検査を実施。

4月10日、農研機構動物衛生研究部門で精密検査を実施し、豚熱の患畜であることが判明。



春は野生いのししの活動が活発になります



*野生動物（特に野生いのしし）対策の徹底

- ・防護柵・豚舎の定期的な点検と修繕
- ・野生動物が近づかないよう死亡家畜の適切な保管
- ・畜舎内への野鳥・小動物侵入防止、ネズミ・害虫の駆除

*衛生管理区域への病原体の持込み・持ち出し防止、消毒の徹底

- ・消毒は「反応時間」「温度」「有機物の除去」が重要
- ・衛生管理区域内の定期的な消毒、消毒液の濃度と交換頻度に注意

*ワクチン接種前の子豚がいる分娩舎などの衛生管理を徹底

- ・畜舎内専用衣服への更衣と長靴の履き替え・手指消毒
- ・消毒、更衣後は再汚染しないように動線を確保
- ・畜舎に持ち込む資材・移動用ケージ等の全面消毒

異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします

東濃家畜保健衛生所

TEL:0573-26-1111 (内394) FAX:0573-25-7669

業務時間外の場合は、警備室 0573-26-1114 にご連絡ください。